



キミの「これくらい」は、あの子の「これくらい」？

～みんなちがって、ちがってあたり前～

こんなことないかな？



○ちょっとたたいただけなのに、相手が「いたい！」とすごくおこった。

○ちょっとふざけて言っただけなのに、「もうあそばない」と言われた。

○少しだけだから、だまって消しゴムを使ったら、すごくいやな顔をされた。

「え？ これくらい、いいじゃん」って思った人もいるかもしれません。でも、実はここに、大きなちがいがあるのです。



「これくらい」って、人それぞれ

人にはそれぞれ、「ここから先は入られたくない」という線があります。体にさわられる感覚、ことばの受け止め方、持ち物をさわられる気持ち……何についても、感じ方は人それぞれちがう。これを「境界線」といいます。キミの境界線は「これくらい、平気」。でも、相手の境界線は「これくらいで、いやだ」。境界線は、人によって、場所によって、その時の心のようにすによっても変わります。みんな一人一人の顔がちがうように、境界線は人それぞれちがってあたり前。だからこそ、おたがいに「聞く」、「伝える」が必要になるのです。



「なにげないことば」が人を傷つけることもある



「ちょっとからかっただけ」のつもりでも、そのことばは相手の心に何日も残ることがあります。ことばは目に見えないけれど、確かに相手の心までとどく。

「言われてうれしいことば」は、相手にとってもうれしいことば。「言われてイヤなことば」は、相手にとってもイヤなことば。からかうことばは、特に相手を傷つける。キミが言われるとイヤなことは、相手もイヤなのですよ。

みんなでできる4つのこと

相手にふれる前や、
ものをかりる時

「いい？」

と聞く



NO!

「いや」
「やめて」

と言われたら、すぐ
やめる

自分の「いや」な気
持ちも、ことばで伝
える

NO

もし、傷つけてしま
ったら、

「ごめんね」

と心からあやまる

